

FREE

ご自由にお持ちください。

No.825
2022 June

6

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



森林基幹道「相生～落部線」が全線開通しました



森林基幹道「相生～落部線」は、郡上市八幡町有坂地区と同市大和町落部地区を結ぶ林道です。
全線開通により地域の林業のさらなる振興が期待されます。

●詳細は3ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
6月17日 (予定)	白山白川郷 ホワイトロードの 開通	白山白川郷ホワイトロードが全線開通します。 ●開通日：6月17日(金)予定 (詳しい日時はホームページでご確認ください。) ●供用期間：6月17日～11月10日予定 ●供用時間：午前7時～午後6時(6月～8月) 午前8時～午後5時(9月～11月) ●通行料金：軽自動車1,400円、普通自動車1,700円 マイクロバス4,900円、大型バス10,800円	白山白川郷ホワイトロード 岐阜県大野郡白川村鳩谷～ 石川県白山市尾添 白山林道岐阜管理事務所 大野郡白川村馬狩字幅上246-4 TEL 05769-6-1664
7月7日	狩猟免許試験	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間 9:30～17:00 ●申込 6/2～6/16 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお 問い合わせください。	飛騨・世界生活文化センター 各地域を所管する県事務所等、また は環境生活政策課 (058-272-1111 内線 2701)



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) 2

森林基幹道「相生～落部線」が全線開通しました 3

「第4期岐阜県森林づくり基本計画」を策定しました② 4

森林経営管理制度への取組みについて 4

令和3年度林業分野における外国人材の活用事業について 5

令和4年度 山地災害防止キャンペーン 5

山の歳時記2022 フジハバキ 6

山のおしごと(371) 7

ー日本で4頭目、フトアナアキゾウムシ 7

ぎふ木遊館通信 8

morinosmenバー紹介!! 9

シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(2) 10

「白山白川郷ホワイトロード」が6月中旬開通予定 11

木の香るぎふの施設(11) 下呂市立萩原小学校(西校舎) 12

森林と人を活かす知恵(113) ヤナギのこと 13

普及コーナー 育てー将来の森林技術者 14

スマート林業通信(24) 14

ぎふ森林情報WebMAP操作研修会開催 16

山林協会通信4 16

20年前の岐阜市・各務原市の山火事を覚えていますか 17

研究コーナー 17

森林作業道計画支援マップを作成しています 17

国有林の現場から(68) 18

UAVを活用した森林官業務の効率化 19

林業者向けお知らせ 19

市況 20



表紙●詳細は3ページをご覧ください。

森林基幹道「相生」落部線」が全線開通しました

郡上農林事務所 林業課

林道「相生」落部線は、郡上市八幡町有坂地内の市道坪佐・竜牙線を起点とし、長良川右岸の中腹を国道156号線と併走するルートで、大和町落部地内の県道白鳥板取線とを結び、総延長12・9km、幅員4・0～5・0mの開設同時舗装の森林基幹道です。

本路線は、県代行事業として岐阜県が事業主体となり、平成8年度に工事着手し、その後25年間の長い歳月と総事業費36億5千万円を投じて、令和3年9月に全線完成となりました。

利用区域面積は1,289haであり、その内訳としてスギ、ヒノキなどの人工林が782ha、天然林が507haと、人工林が全体の61%を占めています。

人工林の齢級構成は10齢級以上(46年生以上)の面積が490ha、割合で63%を占めており、主伐または搬出間伐などの木材生産に適した森林となっています。

本路線は既設の林道や作業道などと接続する線形として計画したことに加え、利用区域内では、開設と並行して新たな森林作業道が作設されるなど、林内路網が構築されてきました。これにより、効率的な木材搬出が可能となり、森林整備が進められています。

郡上管内では、平成27年9月に当林道と近接した白鳥町地内において、国内最大級の大手製材企業と県内林業関係者で構成する長良川木材事業協同組合が事業主体となる大型製材工場が本格稼働を開始しました。令和4年度には年間9万m³、将来的には10万m³の木材需要が見込まれており、地元郡上市では木材需要がますます高まっております。

このたびの全線開通により、今後さらに森林整備を推進し、

木材需要に対応するためのより効率的な木材搬出、輸送などに活用されることで、地域の今後の林業のさらなる振興が期待されます。

本路線の開通により、郡上管内の県営林道工事は1路線が完了となり、現在は4路線で新設工事を進めています。当事務所では郡上市と連携して、森林整備の推進など地域の期待に応えるべく、新規路線の計画策定を進めています。



「第4期岐阜県森林づくり基本計画」を策定しました

5月号で第4期基本計画の全体像を掲載しました。今回は3つの施策区分のうち「森林づくりの推進」による「災害に強い循環型の森林づくり」と「森林技術者の確保・育成・定着」について、ご紹介します。

まず、「災害に強い循環型の森林づくり」では、産業・防災・環境のバランスを重視した森林づくりの実現に取り組みます。具体的には、激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化を図るため、治山施設と森林整備を組み合わせた山地防災対策（事前防災地区）の全県展開や、100年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくりを促進するため、伐採後の確実な再造林を促す対策を強化します。また、森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援をするため、地域森林管理支援センターの機能・体制の拡充、森林情報を提供する「岐阜県森林クラウドシステム」の運用を行います。

次に、「森林技術者の確保・育成・定着」では、新規就業者の確保だけでなく、離職者を減らすための育成・定着についての対策もバランスよく推進します。具体的には、ICT機器を扱う技術者の育成と林業の現場へのICTの早期普及を図るため、林業事業者を対象とした操作研修を実施します。また、安全性の向上を図るため、林業労働災害の撲滅を図る協議会の設立や、消防署と連携し怪我の状況に応じた応急処置、搬送方法を学ぶ作業現場での労働災害時のレスキュー訓練を実施します。

【目標指標】

- ・「間伐実施面積9,600ヘクタール」
- ・「人工造林面積1,000ヘクタール」
- ・「森林技術者数1,000人」など



苗木（コンテナ苗）の生産状況



レスキュー訓練における搬送作業

森林づくりの推進

施策の柱	主な取組内容
1 災害に強い循環型の森林づくり (1) 激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化 (2) 100年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくり (3) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援	○森林整備と治山施設を組み合わせた防災対策 ○山地災害箇所への早期復旧 ○皆伐地の事前・事後指導等強化 ○危険木の伐採支援 ○早急に間伐が必要な森林の抽出と情報提供 ○野生動物の適正管理と獣害対策の推進 ○防災・環境面に配慮した保安林・林地開発許可制度の適正執行 ○水源林の保全 ○森林によるCO ₂ 吸収量最大化の推進 ○「皆伐・再造林推進ガイドライン」の策定・普及 ○再造林の確実な実施促進と支援 ○指針に基づく皆伐抑制指導等 ○「針広混交林化施策指針」の策定・普及 ○早生樹・エリートツリーの活用促進 ○苗木の安定供給体制への支援 ○広葉樹林の整備・活用支援
2 森林技術者の確保・育成・定着	○女性・外国人材の就業促進 ○森ジョブを中核とした新規就業者の確保 ○県内若者応援給付金制度の創設 ○ICT操作技術の習得支援 ○段階的な資格制度の創設 ○全日本伐木選手権の誘致 ○森林技術者の交流機会創出 ○安全機器の導入支援や実技講習による労働環境改善 ○経営者層の意識改革と就業環境の改善促進

【林政課 村土秀巳】

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8470 林政課まで

森林経営管理制度への取組みについて

森林経営管理制度（以下、本制度）に関する県内市町村の取組み状況や、県の市町村支援について紹介します。

県が実施した調査では、令和3年度までに意向調査※1を実施した市町村は、森林のある34市町村のうち31市町村となり、令和元年度の6市町、令和2年度の18市町村から大幅に増加しています。このうち、8市町が経営管理権集積計画※2を作成し、令和3年度は8市町で約140haの森林整備が進みました。（令和元年度は約25ha、令和2年度は約100ha）

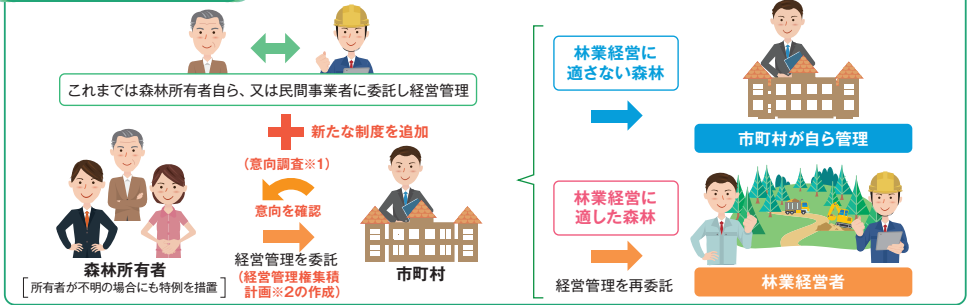
このように本制度を活用した森林整備は着実に増加しつつありますが、県では、市町村による更なる取組みを支援するため、令和4年度は以下の事業を実施します。

- 「地域森林管理支援センター」の機能拡充：令和3年10月に設置した同センターにおいて、昨年度に引き続き、市町村からの相談対応、巡回支援、弁護士等の専門家による相談会、市町村林務担当職員研修を行うほか、市町村が行う意向調査や森林整備業務の発注業務支援を新たに行うなど市町村の取組みを総合的に支援します。
- 早期に間伐すべき森林等の情報提供：既存の航空レーザーデータの解析により、意向調査対象地の選定等に活用できる森林の情報を市町村に提供します。
- 岐阜県地域森林監理士の活用補助：市町村林務行政の支援や私有林経営の助言等を行う人材として認定している「岐阜県地域森林監理士」について、市町村や林業事業者が雇用、委託等により活用する経費を補助します。

※1 森林所有者に対して行う経営管理の意向に関する調査
 ※2 私有林の経営管理権を市町村に設定するための行政計画

森林所有者、林業関係者の皆様には、本制度の趣旨等をご理解いただき、地域の森林整備に向けて、ご協力いただきますようお願いいたします。

森林経営管理制度の概要



●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(4121) 森林活用推進課 森林吸収源対策室 森林吸収源対策係まで

令和3年度 林業分野における外国人材の活用事業について

県内の森林技術者は、平成27年に1,000人を下回って以降、ここ数年は940人前後で推移しており、今後も持続可能な森林の管理を進めていくには、さらなる森林技術者の確保が必要です。

そこで、県では森林技術者確保の新たな切り口として、外国人材の活用を検討しています。その一環として、令和3年度は以下のような調査を行いました。

■富山県西部森林組合の事例（調査日：令和4年1月7日）

富山県西部森林組合（本所：富山県南砺市）では、30名以上の日系外国人の方々が協力事業体として登録されており、植栽、下刈等の保育作業から、高性能林業機械を使用した木材生産までを行っていました。特に令和2年度の保育事業は森林組合の実施面積の約7割を日系外国人のチームが担っており、森林施業の重要な担い手となっていました。お話を聞いた組合幹部の方によると、日本人の作業班も日系外国人の作業班も区別することなく接しているとのことでした。

また、作業現場で竹林整備を行っている日系外国人の方にもインタビューしました。「知人の紹介で林業へ就業しましたが、以前従事していた工場での単調な作業よりも、現場で体を動かすことの方が自分には向いており、今後も林業を続けるつもりです。」とお話いただきました。

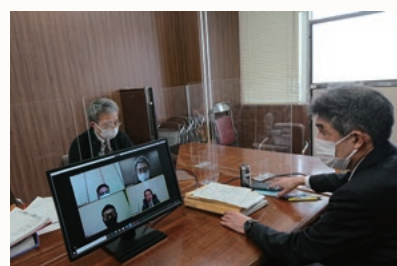
■岐阜県における外国人材の現況

県内の外国人人口は全国的に見ても多く、54,061人（2020年国勢調査）であり、そのうち54.1%の方が身分に基づく在留資格を持っています。これらの方々に林業分野での就業を促すためには、日系外国人のネットワークを活用するなど、林業における就業環境や情報の周知が必要と考えています。

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3198) 森林経営課担い手企画係まで



現場での聞き取りの様子



研究会での意見交換の様子



令和4年度

山地災害防止キャンペーン

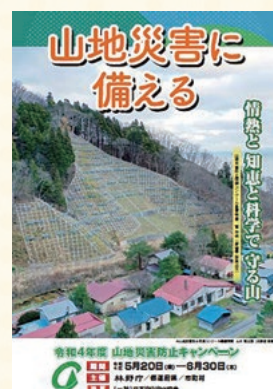


近年、全国至る所で集中豪雨や地震による山地災害が発生しており、社会活動に甚大な影響を及ぼしています。岐阜県でも令和3年8月11日から続いた記録的な大雨により、東濃、飛騨地域を中心に山地災害が発生し、現在も災害復旧に取り組んでいるところ です。こうしたことから、県民の皆さんに山地災害への備えに対する意識を高めてもらうため、国、県及び市町村が一体となって、令和4年5月20日から6月30日にかけて「山地災害防止キャンペーン」を実施しています。

県の庁舎や市町村の公共施設にキャンペーンポスターを掲示し、山地災害への備えを呼びかけるとともに、市町村の広報誌に関連記事を掲載しています。

さらに、山地災害危険地区の周辺にお住まいの方たちを対象に説明会を開催しPR活動も行っています。

また、キャンペーン関連行事の一環として、山地災害防止標語及び写真コンクールが実施されますのでたくさんの応募をお願いします。



キャンペーンポスター

【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

(一社) 日本治山治水協会 標語・写真コンクール係 TEL 03-3581-2288 FAX 03-3581-1410

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8526 森林保全課治山係まで



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

全国に知られた関ヶ原町の今須
択伐林、ここは見事な森林を維持
管理するための枝打ち技術でも全
国的に有名でした。

今須の枝打ちは無節の柱や板を
つくるためだけでなく、複層林の
下層木に光を当てる目的で一般
的な枝打ちよりも高くまで打ち上
げるのが特徴でした。

その枝打ち職人の第一人者が
1970年の大阪万博で、カナダ
の木登り世界チャンピオンに、木

登りで勝利した山本総助さんで
す。生前、私も何度か山本さんと
仕事をさせて頂き、今はご子息の
晃治さんにお世話になっています。
今須では木登り道具である「ぶ
り縄」と、枝を打つ「今須鉞(なた)」、
脚に巻く「フジ脛巾(はばき)」が、
枝打ち職人の三種の神器のよう
なものです。

「ぶり縄」は一本の長い麻縄の両
端にウワミズクラヤクロモジの
棒を結んだもので、これで木に登
ります。「今須鉞」は先端に「チ
ボ」と称する突起がついた独特のナ
タで、重さを利用して枝を切り取
ります。「フジ脛巾」はふくらはぎ
に巻く脚絆で、自分でフジ蔓を採
取して編んで利用します。

昔の今須は冬に約2mの積雪が
あつて山仕事ができないため、フ
ジ脛巾をいくつも作ったそうです。
フジ脛巾は立木を脛(すね)と脰
脛(ふくらはぎ)で挟んで登る時
に滑りにくく、厚みがあるため体
を支えやすいのです。

材料のヤマフジはスギやヒノキ
によじ登っている真つすぐな直径
3cmほどのものが良く、曲がった
り、捻れたり、太過ぎるものは良
い繊維が採れません。ヤマフジは
生えている場所や色合いによつて
3種類に分け、岩場に生える「岩
フジ」は繊維が弱く、林地に生え
表皮が白い「白フジ」は内皮が薄く、
表皮が赤っぽい「赤フジ」は内皮
繊維が厚く最良とされました。特
に赤フジでも、表皮に繊維方向と
直行する皺が多くあるものは、質
が良く「チヂラ」と呼ばれました。

落葉後12月までに採取する蔓
は、親指ほどの太さの5〜6年生
赤フジのチヂラを、長さ1mほど
に切つて2週間ほど天日乾燥させ、
石の上で槌で軽く叩いて内皮だけ
にします。仕上げとして灰汁に浸
けて、繊維を柔らかく丈夫にさせ
てから水洗いして乾燥すれば編材
が完成します。

脛巾にはフジの繊維を2つ折り
にし、厚み1cmほどの脛巾になる

よう麻紐で根気よく編み上げま
す。

フジ脛巾は天然素材であるため、
濡れたものをそのまま放置すると
腐りやすくなるため陰干しして使
う必要があります。最近ではこの
手間が面倒だとして化学繊維など
で編んだ脛巾を使う方もみえます
が、立木に登った時の吸いつきは
フジ脛巾にはかなわないそうです。



▲3ヶ月掛けて作成してもらったフジ脛巾



山のおじゃまむし



—日本で4頭目、フトアナアキゾウムシ【第371回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

令和4年3月20日（日）。日本甲虫学会東海支部例会が3年ぶりに開かれた。新型コロナの影響で中止されていたからである。この例会は愛知、岐阜、三重県で甲虫に興味ある人の集まりで、40年以上続いている。当初は名古屋市の愛知県産業貿易会館で開かれていたが、ここが閉館となってしまった。このため、平成21年から三重県鈴鹿市にある三重県環境学習センターに変わった。しかし、名古屋市にくらべ交通の便が悪い。私の場合乗り換えなどに時間を要し3時間近くかかる。これでは参加者は少ないだろうと思いつつ、交通機関を利用して鈴鹿市での第1回例会に参加した。ところが参加者は約30名。会員数は40名強なので、よくこれだけ集まったものだと驚いた。やはり虫好き人間の集まりだ。つくづく思った。ほとんどが顔見知り。会議と言うよりざっくばらんな話し合いの場となった。各人が採った珍品の自慢話。採り損ねた無念話などいろいろあった。あっという間に閉館。名古屋会場ではここで解散であったが、この日は幹事が近くの大衆酒場で懇親会を計画した。ほとんどが参加。ビールや日本酒を飲みながらの虫の話。楽しかった。酒の味は格別で五臓六腑に染み渡った。楽しい懇親会だった。これ以降、例会の後はこの大衆酒場で懇親会が行われている。

× × × ×

この日の例会もT氏の車に同乗させてもらった。それは数年前T氏から「私は酒が飲めないので毎回自家用車で参加していますが、話し相手がいません。それで一緒に乗っていただけませんか」と声をかけられたからである。嬉しかった。以後、この例会はT氏の車で出席している。私はT氏と違い酒をこよなく愛する男。これで心置きなく飲めると喜んだ。ある人は「いいパートナーをみつけたなー」と羨ましがっていた。この日はT氏が若いころの話をしてくれた。彼の若いころは熱狂的なチョウマニアであった。狙った蝶を採るため、自家用車で全国各地へ出かけたとのこと。中でもある小さな蝶がほしくて阿蘇山へ出かけたが採れなかったので、3年続けて挑戦してようやく手にした話。これにはT氏の執念がひしひしと伝わってきた。そのほか四国、山陰、佐渡、東北地方などへ出かけていた。もちろんすべて自家用車。しかも、休暇がとれなかったので、土曜日の午後に出かけて月曜日の朝に帰り、そのまま会社に出勤したとのことであった。これが何年も続いたというから驚きだ。私も全国各地で採集しているが年休や夏季休暇を利用したりしているのでT氏とは比較にならない。「奥さんは何も言わなかったの」と聞いた。T氏は笑いながら「諦めたみたいだよ」。T氏は子供の入学式、卒業式どころか学校の敷地へ入ったことが無いとのことであった。

これこそ虫きちがい。私とは比較にならないと思った。蝶以外の虫の話も聞いたが、どれもすごい。やる事が徹底しているのである。T氏はすごいとつくづく思った。

× × × ×

12時過ぎに到着。すでに30人以上集まっていた。しかし、名前のわからない人が多い。マスクをしているからだ。「あなたはどちらさんですか」この言葉を何回も使った。今回は青森、東京、神奈川、福井、和歌山県などからも来ていた。これも虫仲間の話し合いの場がないからだろう。そんな気がした。発表会では2年前に亡くなられたゾウムシの世界的権威だった森本桂博士との思い出に関するものばかりであった。やはり森本先生はすごい先生だった。改めて思った。私が森本先生に初めてお会いしたのは50数年前、ゾウムシを同定してもらうため農林省林業試験場へ出かけたとき。2箱の昆虫箱のゾウムシを顕微鏡を覗きながらタイプライターで打つ。神様のようなであった。その時、「これはフトアナアキゾウムシで、日本で4頭目ですよ」と言われた。嬉しかった。胸が熱くなってきた。その時の先生の言葉は今でも忘れられない。私がゾウムシに狂いだしたのはこのゾウムシのお陰だと思っている。発表会のあとは情報交換の時間。しかし、いつものような自慢話が少ない。採集に行けなかったからである。当然懇親会はなし、何か物足りない支部例会であった。



▲日本で6頭目のフトアナアキゾウムシ

× × × ×

出席者の中には、70歳以上の人が私を含め10数人いた。古くからの友ばかりだ。この日もよく話し合った。よく出てきたのが昆虫標本の話。皆が高齢なので今のうちに標本の行き先を決めておきたいのだ。候補先の大学や博物館はどこも余裕がない。ただ大珍品や超貴重種だったら引き取るとのこと。しかし、私たちにすれば何十年もかけて集めた標本。貴重種だけというわけにはいかない。中にはそれだったら昆虫標本業者に頭を下げて貴重種を買い取ってもらうわ。こんな意見も出た。結局、結論は出なかった。帰路、このことをT氏に話した。するとT氏は言った。「なるようになるだよ。だから私は標本を手はなすつもりはない。」なるほど。では私の「なるようになる」はなにか。今考えている。





ぎふ木遊館通信



＜街で森とつながるモノづくり『スプーンクラブ』＞

森林文化アカデミー森林総合教育センター morinosとの連携講座として新たに始まった『スプーンクラブ』を紹介します。

スプーンクラブとは、イギリス・ロンドンの街の中で始まった活動で、「木工に関心があるのでちょっと体験してみたい」、「木を削って仕事のストレスを解消したい」、「気が合う仲間と会話を楽しみたい」、そんな人たちのために材料や道具はすべて用意されていて、会員登録した人たちが毎週夕方に工房に通ってきます。スプーンを削るのは楽しいばかりでなく心が癒やされる、仕事を離れて没頭できる・・・参加者からはそんな声も聞かれるそうです。

そのスプーンクラブを岐阜でも始めようと、グリーンウッドワーク指導者養成講座の修了生等が運営に関わっている団体『グリーンウッドワーク・ラボ』からの企画提案を受け、森林文化アカデミーの木工専攻の学生も運営に関わりながら、ぎふ木遊館で講座を開催することになりました。

いま全国的に人気のグリーンウッドワークは、伐ったばかりのみずみずしい生木を、斧やナイフなどの手道具で削って小物や家具を作る木工のことです。グリーンウッド＝生木、ウッドワーク＝木工です。現代の木工は電動工具や機械を使い、騒音や危険を伴うので趣味として始めるにはハードルが高いのですが、生木を手道具で削るなら音も小さく安全です。加工には木工用の斧とナイフを使い、経験のない方でもスタッフが丁寧に指導します。

街中で普段は森や木に触れることの少ない人たちに気軽に楽しんでもらうことがねらいです。金曜の夜に仕事帰りにひと削り、日曜の午後にほっと一息しながらひと削り。楽しそうに削る大人の姿を子どもたちがガラス越しに木育ひろばから眺める。そんな光景がぎふ木遊館で見られる日も近いことでしょう。

スプーンクラブの開催スケジュールは、グリーンウッドワーク・ラボが開設したWebページ(右の二次元コード)をご覧ください。今後、月に3～4回、定期的開催する予定です。



記念すべき第1回目は4月17日に木工室で開催しました。午前中に斧でのおおまかな整形が終わり、午後からはナイフを使ってさらに形を整えました。講師の久保田芳弘さん(久保田家具工房)から、刃を入れる角度や力の入れ具合をアドバイスいただきながら進めます。

サクサク削れたときの手の感覚、削り屑から香るフレッシュな木の香り、「シュッシュッ」という小気味の良い音。木と向き合い、無心になって削っていると、いろいろな感覚が研ぎ澄まされるようです。

2回目は4月24日にテラスで開催しました。木遊館は軒が深く作られており、多少の雨でもテラスで活動できます。この日も雨天でしたが、シトシトという雨音の下で木を削るのも、なかなか乙な体験です。

昼休みには久保田さんが実演し、参加者が午前中かけた斧の行程を、慣れた手つきで20分程度で仕上げました。こうした技を見ながらコーヒーを飲むのもいいですね～と参加者同士、話が盛り上がりしました。



ある参加者は「丸太を割るところからの体験は驚きに近いものがありました」とこの体験の価値を評価していただきました。また、別の参加者は「(子育てが終わり)木遊館は子どもと一緒に来ないと来れないと思っていました。友達を誘ってまた来たい」とおっしゃってくださいました。

森の樹から暮らしの道具を自分の手でつくる楽しみを味わい、その楽しい時間を仲間と共有できる場を、ぎふ木遊館で提供していきたいと思えます。



やがてみんなの森になる

morinos

メンバー紹介!!

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称morinos）の令和4年度のメンバーをご紹介します！

森林総合教育センター（morinos）では、個性的なスタッフが、様々なプログラムを企画したり、学校などに出張したり、森やひろばを整備したり、来場する皆さんをお迎えしたりしています。皆さんを笑顔でお待ちしていますので、morinosにお越しの際は、ぜひぜひ話しかけてください。



瀨瀬 秀樹
(こうけつ・ひでき/センター長)

ぎふは木の国山の国!!
森を活かし、木を使った空間“morinos”へ、是非ぜひお越しください。



鈴木 知之
(すずき・ともゆき/スージー)

morinosの立ち上げに関わるうち、「森で楽しむ」ことに目覚めてきました。森をうろうろ歩いてみたり、たき火でミニドーナツをあぶってみたり。楽しいことを楽しむことは、子どもだけでなく、大人にも大切ななあ、と思います。morinosで多くの方とお会いできることを楽しみにしています。



川尻 秀樹
(かわじり・ひでき/JIRIさん)

「森や木にあいざつをし、森や木をつかって楽しみ、森ですごし、森や木に感謝し、森にお礼する」おじさん。森には種類も大きさも、個性も違う木が育つように、morinosでは人もそうありたいと願っています。著書に「読む植物図鑑 Vol.1~4」(全国林業改良普及協会)、「森の案内人」(岐阜新聞社) 他多数。



瀧上 舞
(たきうえ・まい/まいまい)

森や川で遊んでいると、ついつい痕跡やいろんなものを拾ってしまうので、家の中は自然のものでいっぱい。子どもと一緒に少しずつ自然をとりいれて暮らすのが楽しみ。日本海まで徒歩5分の立地で育つたため、森とつながる海も大好き!2006年に森林文化アカデミーへ入学し、10数年をへて美濃市に戻ってきました。



萩原・ナバ・裕作
(はぎわら・なば・ゆうさく/ナバ)

森と人をつなぎたいヘンなおじさん。森林文化アカデミーのなんちゃって先生。子どもと森をつなぐプログラムが大好き。



大武 圭介
(おおたけ・けいすけ/ウォーリー)

ホールアース自然学校所属。morinosのプログラム運営担当。
森林文化アカデミー1期生として、2003年に卒業以来、16年間にわたり、静岡を拠点に神戸・岡山など各地で自然学校の立ち上げ・運営に関わってきました。母校にできたmorinosで、いろいろな「実験」に取り組みます。一緒に「ワクワク・ドキドキ」の遊び場を創りましょう!
https://wens.gr.jp/about/interpreter/jyokin/keisuke_otake.html



伊佐治 彰祥
(いさじ・あきよし/いさG)

岐阜県立森林文化アカデミーの教員を経て、morinosスタッフの仲間入り。山仕事、ログクラフト、簡易製材、炭焼き、山林測量、鳥獣魚類捕獲など技術系分野をサポートします。



小林 真理子
(こばやし・まりこ/サニー)

ホールアース自然学校所属。morinosのプログラム運営担当。
2021年3月まで保育教諭として働いていました。通称「サニー」です。何故「サニー」?何故でしょう?これからmorinosひろばに遊びに来て下さった皆さんと面白い遊びをたくさん考えていきたいと思っています。



安田 浩介
(やすだ・こうすけ/やっさん)

ここは森への入口。皆様のお越しをお待ちしております。私は、植物、昆虫、野鳥等が大好きです。ただし、詳しくはありませんが…。一緒に探しましょう!



河合 里江
(かわい・りえ/カーリー)

ホールアース自然学校所属。morinosのプログラム運営担当。
東京都台東区や奥多摩、栃木県にてインタープリターとして活動し、アウトドアショップで山道具の販売にも携わったのちmorinosにやってきました。鳥と音楽と木のぬくもりが大好きです。自然ってすごい!おもしろい!そんな発見のお手伝いができたら嬉しいです。

森と人が楽しく、体験しながらつながってもらいたい。そう願っているスタッフが皆様のご利用をお待ちしております。興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、動画YouTubeをご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開所時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

2

観光景観林整備事業

～観光道路沿いの景観向上のための森林整備を支援～

【事業内容】

観光道路等から眺望でき、景観としての価値が高く、観光客を呼び込み地域の活性化につながる森林を「観光景観林」として優れた森林景観の形成を図るため、市町村が実施する森林整備に対して支援します。

【事業実績】

令和3年度は6市町村において、8路線の観光道路沿いの森林整備（不用木の除去、植栽等）を実施しました。

【令和3年度の事業実績一覧】

市町村	観光道路名	事業量	森林・環境税（千円）
海津市	水郷街道258	5.19 ha	990
養老町	薩摩カイコウズ街道	10.56 ha	3,960
中津川市	ハナノキ街道	5.55 ha	1,110
	裏木曾街道	12.33 ha	2,999
	白川トチノキ街道	11.47 ha	3,054
恵那市	いいなか街道	6.19 ha	2,786
高山市	飛騨美濃せせらぎ街道	7.61 ha	2,492
白川村	飛越峡合掌ライン	7.91 ha	1,437
計		66.81 ha	18,826

※観光道路別に四捨五入で記入しているため合計と一致しません。

整備前



整備後



いいなか街道（恵那市飯地町）

「白山白川郷ホワイトロード」が 6月中旬開通予定

白川村と石川県白山市を結ぶ山岳有料道路「白山白川郷ホワイトロード」は、6月17日（金）に開通予定です。

車窓から新緑を楽しんでいただくほか、白川郷展望台駐車場で下車し、「白川郷展望台」からの眺望や、「ブナのかみち」の散策（約30分）を楽しんだり、三方岩駐車場から三方岩岳への登山（片道50分）にチャレンジすることもできます。

詳しい情報は、白山林道岐阜管理事務所にお尋ねいただくか、ホームページでご確認ください。

※白川郷展望台はバリアフリー化工事により9月中旬～9月末（予定）までの間、車椅子による通行ができません。車椅子以外での通行は可能です。

通行料金

軽自動車	1,400円
普通自動車	1,700円

電話でのお問い合わせ先

白山林道岐阜管理事務所
TEL/FAX 05769-6-1664
<https://hs-whiteroad.jp/>



新緑のホワイトロード



令和2年新設展望台

【森林保全課 水源林保全係】



白川郷展望台
駐車場にある蓮如茶屋は
8月リニューアル
オープン！
?



下呂市立萩原小学校(西校舎)

下呂市萩原町萩原1101番地



普通教室 (前面)

施設概要

事業年度	令和2・3年度
事業主体	下呂市
構造 延床面積	鉄筋コンクリート造3階建 1,563.54㎡
施設用途	小学校
木材使用量 使用樹種	22.50㎡(床・壁) ヒノキ・スギ圧縮材(ぎふ証明材100%)
全体事業費	261,008千円
助成額	7,090千円(木の香る快適な公共施設等整備事業)
設計者	(有)斐太プランニング 下呂営業所
施工業者	金子工業(株)
工期	令和3年2月から令和4年3月

施設の経緯

萩原小学校は下呂市萩原町にある市内で一番大きな小学校です。

校舎が築40年を超え老朽化が進んでおり、今回、長寿命化改良工事による建物の老朽化対策を行うとともに、児童が長時間使用する普通教室や保健室について、内装木質化を行い、快適な学習環境の整備を図りました。



普通教室 (背面)



ここに注目!!

普通教室は床及び壁を県産材ヒノキで木質化し、明るくあたたかみのある教室となりました。

利用者の様子

児童は木に囲まれた教室でのびのび過ごしています。

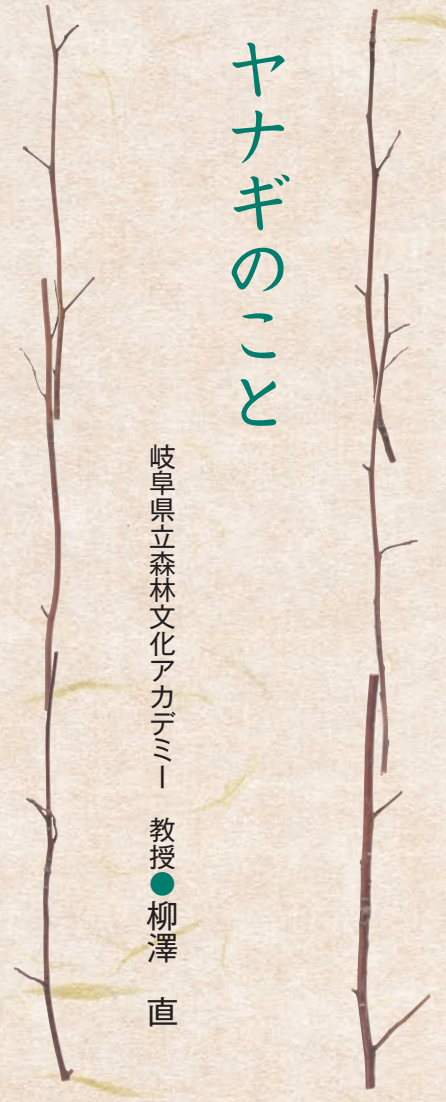


授業の様子

■問い合わせ先
下呂市教育委員会事務局教育総務課
TEL 0576-52-4800

ヤナギのこと

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 柳澤 直



あっても得意な場所が違っているのは興味深いですね。

種類が違っても河川沿いに生活の場を持つヤナギ属の樹木には共通の生態的特徴があります。それは栄養繁殖を旺盛に行う、という点です。たとえば強い流れで太い枝から細かい枝までが途中で千切れて流されてしまっても、幹ごと流されてしまっても、流れ着いた先で芽を出し、根を出して新しい幹を仕立てることができのです。多くの動物と違って、部分が残っていれば個体が再生できる植物の特性を存分に活かしているといえるでしょう。頻繁に増水して攪乱に遭いやすい立地に生育しているヤナギたちにとっては分布を広げるのにも役立つ合理的な生態だと思えます。

これを活かした河川の護岸のための工法に「柳枝工(りゅうしこう)」があります。水から上に出ることの多い護岸法面にヤナギの枝を敷き詰めておくことで、数年後ヤナギの林が成林し、その根で護岸をしっかり固定するとうものです。これもヤナギの生態をよく知っていた先人たちの智慧ですね。

ちなみにターザンごっこをしてぶら下がっていたシダレヤナギの枝は折れやすく、ぶら下がったはいいものの、よく落っこちていたのを思い出しました。今にして思えば、さもありません、といった感じでした。

さて、今回は私の名前にも入っているヤナギについて取り上げてみたいと思います。ヤナギは身近な自然、特に河川や水辺に多く見られる樹木で、古くから日本人に親しまれてきているものの一つです。花札の11月の札はヤナギがモチーフになっていますし、夏の夜に幽霊が出るのは川端の柳並木の側と相場が決まっています。私も子どもの頃にシダレヤナギの枝を束ねてぶら下がり、ターザンごっこをして遊んでいた記憶があります。しかし、我々が身近に目にするのは日本の自生種ではなく、中国から導入されて植えられたシダレヤナギがウンリユウヤナギがほとんどで、日本に自生するヤナギの中で誰でも知っているメジャーなものにはネコヤナギくらいではないでしょうか。その綿毛にも見えるフワフワの花は早春を告げる花として人気であり、華材としてもよく扱われます。



写真①: 早春のネコヤナギ
切り花でお馴染みなのは雄花。長良川(美濃市)

ナギには、ネコヤナギ・カワヤナギ(ナガバノカワヤナギ)・コゴメヤナギなどがいますが、それぞれに出現する場所と樹体の大きさが違います。ネコヤナギは水しぶきを浴びるくらい、川の流れに最も近い場所に生えていて、樹高も人の背丈とそれほど変わらず残りの2種に比べて小さいヤナギです。コゴメヤナギは大雨のあとの増水

で根元が水につかることはあっても、普段は水につからない流路から少し離れて高い場所に生育しています。樹高も大きくなり、20m以上になることも珍しくありません。これは増水による攪乱で木が根こそぎ倒される機会が少ないことと関係がありそうです。カワヤナギは生育場所も大きさも前二種の中間くらいになります。同じヤナギで



写真②: 早春のコゴメヤナギ
開花期には花で全体が黄金色に染まり美しい。長良川(美濃市)



育て!将来の森林技術者



■飛騨農林事務所

林業普及指導員 瀧根 隆司

はじめに

将来の森林づくりを担う「若い」人材を確保するため、林業に関する専門教育を行っている、飛騨高山高校環境科学科の2年生生徒を対象に、令和3年度の「林業就業体験研修」を開催しました。

例年は、高山市清見町地内の飛騨高山高校の演習林において、チェーンソーによる間伐体験、小型バックホウの操作、ウィンチを利用した集材体験を行っていますが、ここにも新型コロナウイルスの影響がやってきました：

授業の進捗が遅れたり、各種行事ができなくなったり、延期になったりしていたため、当該研修の実施時期が一月遅い11月の開催となりました。また、授業でチェーンソーの扱いの基礎を習ってから研修を迎えるのですが、今年度は、生徒が一度も授業でチェーンソーを扱っていない状況で研修を行うこととなりました。

健康と安全を第一に

飛騨地域の山は、早いところでは11月に降雪・積雪する年もあります。例年のように演習林で伐採・集材の研修をした場合、足を滑らす等による思わぬ事故や低温により体調不良の発生などが考えられたため、会場と研修内容の見直しを行いました。

まず、研修生の三密を避けるため4つの班に分け「チェーンソー体験」「重機(グラップル)操作体験」「VRチェーンソー体験」「ハーベスタシミュレータ体験」とし、また会場を演習林から、飛騨高山森林組合の土場及び岐阜県森林組合連合会飛騨共販所に変更しました。

研修当日

令和3年11月18日木曜日、いろいろ心配しましたが、この日は、晴天・無風の好日となりました。検温・アルコール消毒・換気・マスク着用等の基本的な感染予防対策のもと研修会を開催しました。

①チェーンソー体験

昨年度までは、演習林で実際に間伐などを体験していましたが、今回は、飛騨高山森林組合で新人教育を担当している柴田敏幸さんを講師に1m程度の丸太を使って、チェーンソー操作の基本を指導していただきました。水平に切る、貫通させる、受け口を作るなどを体験した生徒からは、「振動がすごい」「刃先が下がってしまい難しかった」などの感想がありました。



▲的確な指導
飛騨高山森林組合 柴田講師

②重機(グラップル)操作体験

前年度の研修では、飛騨高山高校所有のウィンチ付き小型バック

ホウの操作体験をしています。今回は、土場に積んである丸太をグラップルを使って移動させる体験を、森林作業道の開設などで活躍されている飛騨高山森林組合の蔵満雅義さんを講師に体験してもらいました。

講師から、「みんなセンスが良く1日練習すれば現場に出て働いてもらえるくらいだ」との言葉に生徒もまんざらではないようでした。



▲熱のこもった指導
飛騨高山森林組合 蔵満講師

③VRチェンソー体験

今回の研修では実際にチェンソーを使つての立木伐倒体験が実施できないので、岐阜県で導入し

たVRチェンソー(仮想現実の中で伐倒体験ができる装置)を活用して、生徒に伐倒体験してもらいました。

生徒からは、「もつとやりたい」「実際に伐倒してみたい」といった感想がありました。



▲VRチェンソー体験中、生徒には伐倒木が見えます!

④ハーベスタシミュレータ体験

林業の現場で導入が進んでいる高性能林業機械。その中で、ハーベスタの操作体験ができるハーベスタシミュレータ(こちらも県で導入)を使つて伐倒・玉切り体験をしてもらいました。1人当たりの体

験時間が10分程度であったためボタンの多いハーベスタの操作は難しいといった感想がありました。

今回の研修を通して、森林技術者が安全に留意して作業していることや、高い技術力を持つていることを理解してもらえました。少しでも林業の現場の雰囲気を感じてもらえ、林業への就業を考えてもらえれば幸いです。そのためには、現状の労働災害の発生状況では厳しい面もありますので、今後とも引き続き安全面の向上を図るよう事業体を指導する必要があると



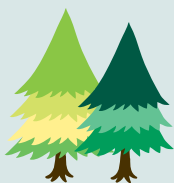
▲ハーベスタの操作に悪戦苦闘中

感じました。

最後に

皆さんは、林業の現場を見たことがありますか?本誌をご愛読の皆さんは、もちろん見たことがあると思いますが、世間一般では、見たことのある人のほうが少ないというのが実情かと思えます。そのため、高校や大学の進学、就職先の選択で候補に挙がりにくい現状があります。親御さんの中には「斧や大きなのこぎりで木を倒している」といったイメージを持つている方もおられるようです。

今後も林業の仕事を若い世代に知っていただく取り組みを通じて、森林技術者の確保に努めたいと思います。



●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0577-331111 内線 491

飛騨農林事務所まで

ぎふ森林情報WebMAP操作研修会開催

森林文化アカデミーと森林研究所は、昨年十月末に共同で「ぎふ森林情報WebMAP」を一般公開しました。公開後も地図の追加や更新、「縦断面解析」、「見通し解析」等新たな機能の追加を行い、今年4月の時点で「CSS立体図」、「集水線図」等23種類の地図を掲載しています。

2月末には「操作説明書」も公開しました。「操作説明書」では「ぎふ森林情報WebMAP」の全ての機能とツールの使い方に加え、公開している地図をQGISからリンク設定して表示する方法についての説明もしています。

説明書の公開に合わせて、3月22日に操作研修会をリモートで開催しました。「ぎふ森林情報WebMAP」は、地図の表示だけでなく、計測、図形作成、解析などを行うツールと組み合わせたアプリとして作成されています。研修会は、これらのツールの使い方を理解してもらい、「ぎふ森林情報WebMAP」をより活用してもらうことを目的に開催しました。研修会では、全ての地図とツールの使用方法について説明しました。受講した方からは、「CSS立体図」

以外にも活用できる地図が公開されていることを初めて知ったとか、「縦断面解析」ツールを活用していきだの感想や、要望・提案もいただき、作成側としても有意義な研修となりました。

これからも森林関連の情報を地図化して公開を進めるとともに、WebMAPとしての機能も充実させていただきます。また研修会も企画しますので、「ぎふ森林情報WebMAP」に対するご意見・要望をお待ちしています。

◆ぎふ森林情報WebMAP
<https://www.forest.r.d.pref.gifu.lg.jp/shiyou/sirinwebmap.html>

「ぎふ森林情報WebMAP」は、こちらからご覧いただけます



●詳しい内容を知りたい方は
 TEL 0575-1360-2535

森林文化アカデミー
 スマート林業推進係まで



20年前の岐阜市・各務原市の山火事を覚えていますか

山林協会通信④



2002年4月5日に、岐阜市東部にある権現山一帯で、大規模な山火事(当時の発表では林野火災)が発生しました。被害面積約410haに達する岐阜県での過去最大規模の林野火災となりました。(月並みですが、410haは東京ドーム約87個分に相当します)

消火活動に従事した消防機関の人員はのべ2,416人、のべ車両数321台、空中消火活動を行った防災ヘリは7機。そのほか陸上自衛隊・航空自衛隊(岐阜基地)、地元の消防団・自主防災隊のみなさんの活躍により、翌日6日には鎮火いたしました。さいわい、住家被害はなく、消火活動中のけが人が2名という最小規模の被害に収まりました。(岐阜県ホームページより)

上の写真(岐阜県撮影)は、当時の状況です。広範囲から煙が上がっていて大規模な山火事であることがわかります。特に、写真中央の住宅地は近くまで煙が迫っていて、かなり危険な状況のように見えます。真ん中の写真(岐阜県撮影)は、鎮火後の山の状況です。尾根付近は黒く焦げており、中腹も茶色くなっていて、立木被害の大きさがうかがえます。

その後、治山事業等による復旧工事、特に延べ1万人を超えるボランティア活動による植樹活動が実施され、現在では、下の写真(山林協会撮影)のように立派な緑の山に再生されています。

【山林協会 瀬上】

森林作業道計画支援マップを 作成しています

岐阜県森林研究所 ● 白田 寿生

はじめに

丈夫で壊れにくい森林作業道の整備を進めるためには、作設に適した場所を的確に選定することが重要です。作設適地の重要な要素の一つに、作設する土地の傾斜角度が挙げられます。この傾斜角度については、当所のウェブサイトで提供している「傾斜区分図」を参考に判別することが可能です。しかし、傾斜区分図では、作設する道の縦断勾配や切土高といった構造規格を満たすことができるかを確認することができません。

このため、当所では、より効率的で精度の高い作設適地の選定を支援する森林作業道計画支援マップ（以下、支援マップ）の作成を進めています。

支援マップの作成方法

支援マップを作成するにあたっては、路網設計支援ソフト「FRD」（株式会社社住友林業）と地形データ（1mメッシュの数値標高モデル）および当所が作成した既設路網データを使用しました。

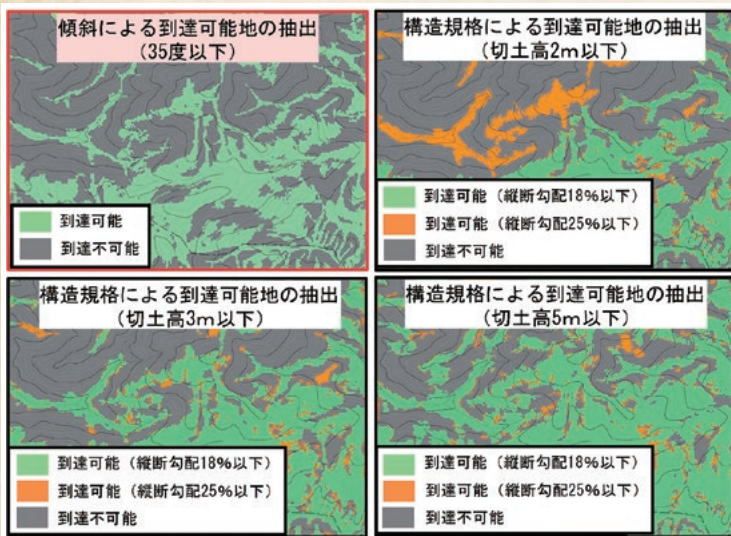


図1 各種条件に基づいた森林作業道計画支援マップ

次に、森林作業道の作設適地とされる35度以下の場所を到達可能地として作成したマップ（図1左上）と切土高が異なる3つの支援マップを比較したところ、2m以下が最も近似しており、3m以下も概ね近似していましたが、5m以下では、やや異なる場所も多く見られました。

切土高を変えた3つのマップの妥当性を検討するため、支援マップを作成した地域（地質：堆積岩）の既設森林作業道において、切土高と崩壊の有無を調査しました。その結果、切土高が高くなるほど崩壊の発生割合は高い傾向が見られました（図2）。

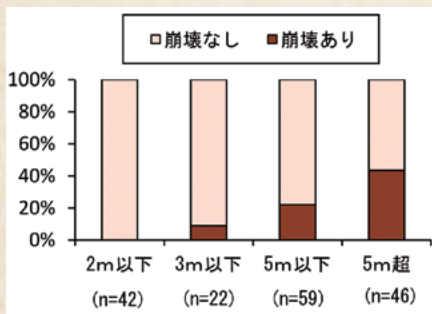


図2 切土高と法面崩壊の有無の関係 ※「n」は調査測点数

支援マップにおける作設適地は、県の作設指針を参考に設定した構造規格を満たす作設が可能であり、なおかつ、既設の公道（林道を含む）に接続している場所（到達可能地）と定義し、5mメッシュ単位で抽出しました。

森林作業道の構造規格のうち、切土高については、県の作設指針において、「局所的に1.5mを超えざるを得ない場合を除き、切土法面の安定や機械の旋回を考慮し1.5m程度以内とする」ことが望ましく、なおかつ高い切土が連続しないよう注意する」と定められています。しかし、切土高の上限については定められていないことから、支援マップにおける切土高の上限値を比較検討するため、「2m以下」、「3m以下」、「5m以下」の3パターンでマップを作成しました（図1の右上、左下、右下）。なお、到達可能地については、道の縦断勾配の制限値を18%以下と25%以下に区分して表示しています。

切土高の検討

一方、支援マップの到達可能地の縦断勾配に着目すると、切土高2m以下よりも3m以下の方が緩い縦断勾配で到達可能な場所が多くみられ、路面侵食防止などの観点では、2m以下よりも3m以下の方が妥当である可能性も示唆されました。

以上の結果を考慮すると、支援マップにおける切土高の設定は2m以下を基本として、地質等の現場条件を考慮しながら、3m以下も併用して検討することが適切であると考えられました。

おわりに

今回紹介した支援マップは、現在、県下の一部地域で作成中ですが、現場の皆さまのご意見を聞きながら、県内全域の作成を進めていきます。関心のある方は、ぜひお問い合わせください。

詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-331-2585

森林研究所まで

UAVを活用した森林官業務の効率化

中部森林管理局主催の「令和三年度中部森林技術交流発表会」で森林技術・支援センターが発表した、ドローンによる業務効率化の検証について概要を掲載します。

① 背景

中部森林管理局では約40機のドローンを導入し各種業務への活用を進めています。

様々な業務への活用と、より多くの職員によるドローンの活用を図るため、森林官が行う確認業務のうち、ドローンによる省力化が可能な業務について検証を行いました。

② 新植・下刈り

ヒノキコンテナ苗の新植地で、上空から撮影した画像をもとに、色を抽出するフリーソフトを用いて、植栽木の葉の色のみを抽出しました。写真1では、植栽木を周囲の雑草木と識別することが困難ですが、写真2のように色を抽出すると植栽木が鮮明となり、植付間隔、植栽本数、活着状況の確認が画像上で容易にでき、現地での確認作業を省力化することが可能となります。

下刈箇所においても色の抽出加工を行うと、識別できなかった笹生地内の植栽木を判別することが可能になり、下刈の損傷状況の確認が容易に判断できるようになりました。



写真1 新植・活着の確認 (色抽出前)

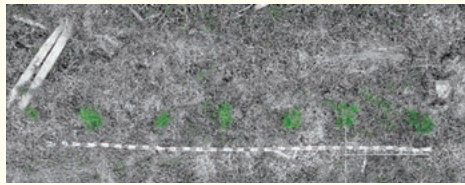


写真2 新植・活着の確認 (色抽出後)

③ 立木販売

ドローンの空撮画像を確認することにより、伐採区域の確認が容易となり、進行管理の省力化が図れます。

また、伐採前の区域確認時に林縁木の根元にテープ等で表示しておくことで、誤伐等の確認や跡地確認も可能となり、監督業務等の省力化が可能となります。

④ 境界管理・貸付地

境界巡視については、過去からの継続定点写真から境界周辺の改変等を確認していましたが、撮影場所へ行くまでに時間を要し、境界が部分的に目視できない遠望箇所もありました。こうした箇所において、写真3のようにドローンによる空撮画像を活用することで、短時間で、広範囲に及ぶ境界の状況等を確認することができまます。

また、道路法面等、急傾斜地など危険の伴う境界確認も、空撮画像によって安全に確認することが可能となります。



写真3

⑤ 獣害対策

くくりワナは獣道などの林内に設置される場合が多く、ドローンで確認するには操作に技術を要するため、上空から確認できる箇所を検証しました。

ニホンジカが捕獲されている様子は、ドローンによって上空から見回りを行うことで、容易に確認できました。一方でくくりワナの誤発の確認については、ドローンによる確認は困難でしたが、くくりワナ本体に識別テープを巻くことにより、上空から誤発の確認が可能となり、点検の省力化につながりました。

⑥ 検証結果

今回検証した主な業務を労力の軽減による省力化の割合と操作の難易度について表のとおりまとめました。

	作業種	検証事項	省力化の割合	操作の難易度
造林	新植	植付間隔及び活着状況	○	中
	種子結実調査	種子の結実状況	△	難
	下刈	損傷状況の確認	○	中
販売	立木販売	進捗状況 (保安林不実行通知等)	◎	易
	境界巡視	境界周辺の開発行為	◎	易
測定	貸付地	貸付区域の改変等の確認	◎	易
	施設点検	路面路肩及び施設等の確認	△	難
治山・土木	災害概況調査	崩壊と路肩法面決壊の確認	◎	易
	くくりワナ点検	捕獲状況等の確認	○	中
獣害対策	シカ柵点検	施設崩壊等の確認	○	難

て表のとおりまとめました。

省力化の割合が高く、操作の難易度が低い業務としては、立木販売の進捗管理、境界・貸付地の確認、災害概況調査が該当し、省力化の割合合い、操作の難易度が中位である業務としては新植・下刈りの状況確認や、くくりワナの点検が該当することが確認できました。

また、種子の結実調査については対象木から1m程度まで接近する必要があるため、施設点検については樹冠のうっ閉等により上空から施設の様子が確認できないため操作の難易度は高くなっており、省力化の効果は低いことがわかりました。

(森林技術・支援センター)

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
6月3日(金)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間: 学科 8:55~15:20 実技 15:30~16:30 ● 申込: 開催日の10日前まで ● 受講料: 11,550円(本代含む)(振込み) ● 定員: 30名(定員になり次第締め切ります。) 	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
6月15日(水)~ 6月17日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間: 15日 学科 8:50~17:10 16日 学・実 8:50~12:00 17日 実技 8:30~17:40 ● 申込: 開催日の10日前まで ● 受講料: 23,870円(本代含む)(振込み) ● 定員: 30名(定員になり次第締め切ります。) 	15日(学科) 16日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 17日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
7月5日(火)~ 7月8日(金)	フォークリフト運転技 能講習 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 受講資格 自動車普通運転 免許所持者 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間: 1日目 学科 8:45~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30 ● 申込: 開催日の20日前まで ● 受講料: 32,450円(本代含む)(振込み) ● 定員: 20名(定員になり次第締め切ります。) 	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門 912-1) (実技) ぎふ農協旧伊自良共選場(山県市洞田 127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
7月13日(水)~ 7月15日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間: 13日 学科 8:50~17:10 14日 学・実 8:50~12:00 15日 実技 8:30~17:40 ● 申込: 開催日の10日前まで ● 受講料: 23,870円(本代含む)(振込み) ● 定員: 50名(定員になり次第締め切ります。) 	13日(学科) 14日(学・実) 恵那建設会館(恵那市大井町 2087-276) 15日(実技) 加子母森林組合(中津川市加子母 4872-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

春の日差しが暖かい某日、まん延防止等重点措置も解除されたので、車で兵庫県までドライブをしてきました。

行きは高速道路を使い、ドライブの目的である神戸市立王子動物園を楽しみ、帰りは下道(一般道)で帰宅しました。

下道だと、移動時間が高速道路を使用した場合と比べると、倍近くかかるので時間が勿体ないと思われる方も多かもしれません。

しかし、この下道ルートは大阪の中心部や奈良公園や平城京跡歴史公園といった観光名所を車から眺める事が出来るので、少しお得な気分になれるルートです。

外出自粛の日々が続く、他県への移動が制限されていたので、車から様々な県の景色を満喫出来て沢山の場所に旅行へ行けた気分になった休日でした。

「森林のたより」編集委員 小川 友梨

COLUMN

イベント情報

7月1日発行

連載

- 山の歳時記(203)
- 山のおじゃまむし(372)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(114)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(112)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

7月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1792回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	17,200	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	16,000	—		
			20~22cm	17,700	—		
			24~28cm	17,300	—		
		30cm以上	15,800	22,200			
	6 m	16~18cm	—	—			
	5月17日	ひのき	3 m	16~18cm	29,700		—
			20cm以上	26,000	—		
			4 m	16~22cm	28,700		—
		4 m	24~28cm	23,500	—		
30cm以上			23,200	77,000			
6 m		16~18cm	—	—			
第1374回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—		
		4 m	24~28cm	17,000	—		
			30cm以上	16,000	—		
	ひのき	3 m	16~18cm	30,700	—		
		4 m	20~22cm	29,000	—		
			24~28cm	23,500	—		
			30cm以上	23,200	40,000		
		6 m	16~20cm	36,000	—		
	5月11日	ひめこ	4 m	24~28cm	13,000	—	
			30cm以上	14,000	22,000		
5 m		30cm以上	18,000	—			
くり		4 m	24cm以上	15,000	34,000		
第1706回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—		
		4 m	24~28cm	17,000	18,000		
			30cm以上元	14,500	32,000		
	ひのき	3 m	16~22cm	29,500	39,000		
			24~28cm	23,000	41,000		
			30cm以上元	27,000	46,000		
		4 m	13cm以下	10,000	—		
			24~28cm	23,500	—		
			30cm以上元	27,000	61,000		
			6 m	18~22cm	36,000	—	
5月12日	まつ	4 m	22~28cm梁	8,000	—		
		30cm以上元	10,000	—			

【商況】

応札は全体的に活発。スギ4m元木中目、尺上良材は応札多数。40cm上元木、2番選木も強含み。スギ並材3m・4m併せて需要高、価格は保合。3m(16~22cm)直造材が有利。スギ ラミナ向け3m・4m材は保合であるが引き合いは強い。ヒノキ柱材、土台向け継続して弱保合。直造材が有利。4m中目(24~28cm)については保合。ヒノキ2.2m元木(26cm上)、直小曲、需要あり。合板向けはスギ、ヒノキ継続して需要高。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。他の高値ケヤキ4.2m×72cm@80,000円(岐阜)

ヒノキ、スギ製材向け柱取り、中目材も高止まりしているが特に合板丸太の引き合いが強く、全体の相場を引き上げている。なかでもカラマツの引き合いが強い。広葉樹は出材量も多く、良材は応札旺盛だが並材は価格が伸びない。特にクリ、ナラ2・4m(30cm上)応札旺盛。高値イチイ3m×36cm@79,800円マクルミ2.1m×30cm@39,000円ナラ2.2m×38cm@48,000円サクラ4m×30cm@39,000円ホエビソ2.1×30cm@28,400円(飛騨)

全般的に、ヒノキ・スギ並材は、応札旺盛。ヒノキ高齢材及び枝打材など上向き気配にて強気。ヒノキ柱・土台の構造材は弱含みだが今後の動向に留意。ヒノキ3m・4m(30cm上)は需要があり強含保合。ヒノキ2m(30cm上)良材は引き合いがあり強含み。スギ材は売りやすく大径木は売れ行き堅調も単価は保合。合板向けはヒノキ・スギ継続して需要高。他の高値モミ4m×54cm@30,000円、サワラ4m×40cm@30,000円(東濃)

製品卸売標準価格 (4月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	100,000	(3,308)	→
	間柱	3000	105	30	1等	100,000	(945)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	上1等	130,000	(5,733)	→
	柱	3000	120	120	特等	120,000	(5,184)	→
6000		120	120	上1等	180,000	(15,552)	→	
W集 ウッ ド材	柱	3000	105	105	国産5層	167,000	(5,500)	→
		3000	120	120	国産5層	163,000	(7,000)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (4月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	468	米栂	へム(アラスカ産)	414
	コースト(目荒)	432	米ひば	ポール	378

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

木材乾燥機

木材用語一〇〇×

木材を人工的に乾燥する装置。最も一般的な方式は木材を加熱した空気(蒸気)で乾燥させる蒸気式。このほかヒートポンプを使った除湿式、密閉可能な炉体内に木材を入れて加熱・減圧して急速乾燥する真空式(高周波加熱減圧式)、燻煙熱処理で乾燥する燻煙式などがある。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典